

7番 時吉 茂治 議員

1 食育と地産地消について

- (1) 本市における食育についての取組と、その成果や課題について示されたい。
- (2) 食育基本法の前文では「子どもたちに対する食育は、心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるものである」と記載されている。学校現場では、食育の推進に資するため食の情報は何のような内容で、どのような方法で伝えられているのかを示されたい。
- (3) 朝食を欠食する児童生徒がいるのか。朝食を欠食する児童生徒へどのような対策を取っているのか。
また、児童生徒に家庭での食事の内容や、学校給食に対する要望等のアンケート調査をしてみてもどうか。
- (4) 学校給食に使用される主要食材(玉ねぎ、ニンジン、ゴボウ、じゃがいも)の、本市での令和3年度生産実績を示されたい。
- (5) 学校給食における、令和3年度の鹿屋市産の米以外の農産物の使用割合はいかほどか。
また、主要食材についての割合と量を示されたい。
さらに、使用割合を増やすため、どのような対策を講ずるのかを示されたい。
- (6) 学校給食における食べ残しは何%くらいで、その量はいかほどか。食べ残しをなくするために、どのような対策を講じられているのか。
また、食べ残しはどのように再生利用されているのかを示されたい。
- (7) 農林水産省は、学校給食等の現場と生産現場の双方のニーズや課題の調整役となる「地産地消コーディネーター」を全国の学校等施設給食の現場に派遣してきた。引き続きこれらの取組をさらに発展させていくことで地場産の農林水産物の利用拡大を図っていく、としている。本市には「地産地消コーディネーター」が来たことがあるのか。
また、学校給食等の現場と生産現場の双方のニーズや課題の「調整役」が必要と思われるが、どう考えるか。

7番 時吉 茂治 議員

(8) 食用油や乳製品等食材の値上げが相次いでいる。学校給食費の保護者等への負担増は検討しているのか。

また、その時期はいつ頃になるのかを示されたい。

(9) 本市は、広大な農地を有しており、市町村別農業産出額は全国第 11 位である。令和元年5月に鹿屋市の「食」と「農」に関するアンケート調査を実施している。『地元産品を購入して「地産地消」をしたいと思いますか』との問いに対し、80%以上が「実践している」、「そう思う」、と回答し関心の高さを示している。しかし、市内のスーパーには、市内産の農産物があまり陳列されていないように見受けられる。市内産の農産物をもっと多く販売してくれるようスーパー業界との話し合いは行っているのか。

また、どのような課題があるのかを示されたい。

(10) 地域の魅力を多くの人に発信する場として、道の駅や直売所がある。地産地消を促すための情報発信、広報活動が重要視されている。道の駅は道路利用者の休憩施設というだけでなく、近年は買い物目的の人も多いという。本市は道の駅を造る考えはないか。

また、道の駅を造るにはどのような課題があるのかを示されたい。